

意見交換会における主な意見と区の回答

【新校舎等整備について】

意見	回答
第八中は校舎側と校庭側の土地の高さが2 m程度違う。生徒の負担とならないよう高低差をなくすことはできないか。	当該敷地の高低差を解消するためには都市計画法上の開発行為が必要となり、学校敷地だけでなく近隣地域にも影響が及ぶ事が想定されるため、切土や盛土による地盤の高低差解消は考えていない。
地中杭を当初の想定より広範囲に施工しなければならないということだが、現在の第八中の校舎は安全か。	新校舎では道路上空通路が現在のものより大型化するため、杭を擁壁の下に増やさなければならない。現在の第八中の校舎は安全が確保されている。
工事が始まると車両が多数往来すると思うが、近隣の安全確保策について聞きたい。	近隣の方にはご迷惑をおかけすることになるが、安全確保を最優先に工事を行う。なお、工事中の安全対策については、別途説明会を開催予定である。
第八中近隣住民への工事の説明は済んでいるのか。	統合委員会に説明するとともに、中高層建築物紛争予防条例に基づく近隣住民への説明会を開催済である。工事業者と契約締結後には、工事説明会を開催する予定である。
第八中の東側の坂道は現在も交通量が多く、工事が始まるとさらに危険度が増すと思われる。カーブミラーの大型化、角度を変え死角を少なくする等の対策をとってほしい。	道路管理者や警察と協議し、特に工事期間中には交通誘導員を配置するなど万全の対策を講じたい。

【児童の通学について】

意見	回答
通学路には踏切があり、児童が無理に横断することも考えられる。また、跨線橋を作るよう西武鉄道に要望しているとも聞いた。現在の検討状況を知りたい。	通学路の児童の安全確保については、児童見守り指導員の配置のほか、跨線橋等の設置についても区としてどのような対応が考えられるか検討していく。
学校の数が減ると通学区域が広がるため、境界に住んでいる者は遠距離通学となる。保護者の希望には柔軟に対応してほしい。	小学校については、通学距離を理由とする指定校変更を認めており、個別に対応している。

【その他】

意 見	回 答
鷺宮小と西中野小が統合した場合、教職員も異動してしまうのか。	児童の不安解消も考慮し、両校のバランスを見て配置していく。
統合が遅れる分、交流事業も1年後回しになるのか。	統合を円滑に行うための交流事業については、1年延期することなく、計画変更前の予定どおり実施する。
鷺宮小と西中野小が廃校になった後の跡地利用については何か計画があるのか。	跡地利用について具体的な計画にはなっていないが、今後、全庁的観点から検討していく。
第四中と第八中が統合すると第八中の生徒は第四中まで遠距離通学となるが、どのような考え方によるものか。	第四中の位置での統合から旧若宮小の位置での新校舎完成まで4年かかると見込まれることから、学校再編に伴う指定校変更の取り扱いも含めて検討している。
遠距離通学者は自転車を使用しても良いか。	自転車通学は認めていない。